

近年の気象傾向・風水害

日本の気象の傾向

(日本の年平均気温は上昇傾向)

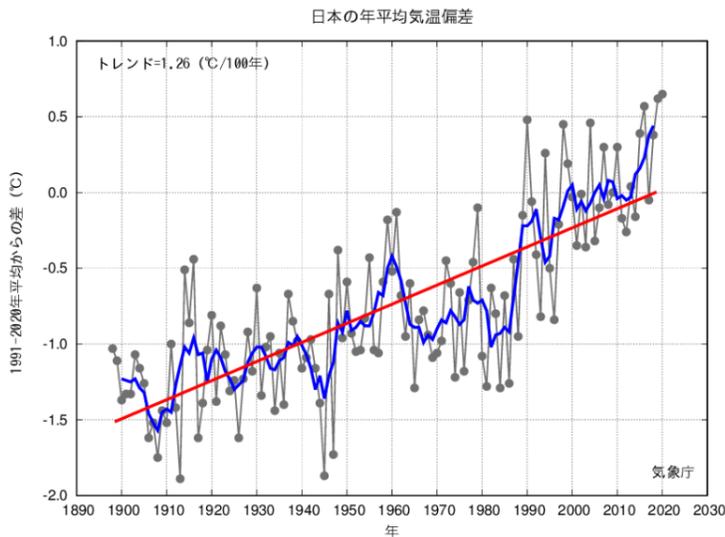
2019年の日本の年平均気温は1981~2010年の平均気温に比べ、0.95℃高くなりました。

日本の年平均気温は、長期的には100年あたり約1.26℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる年が増えています。

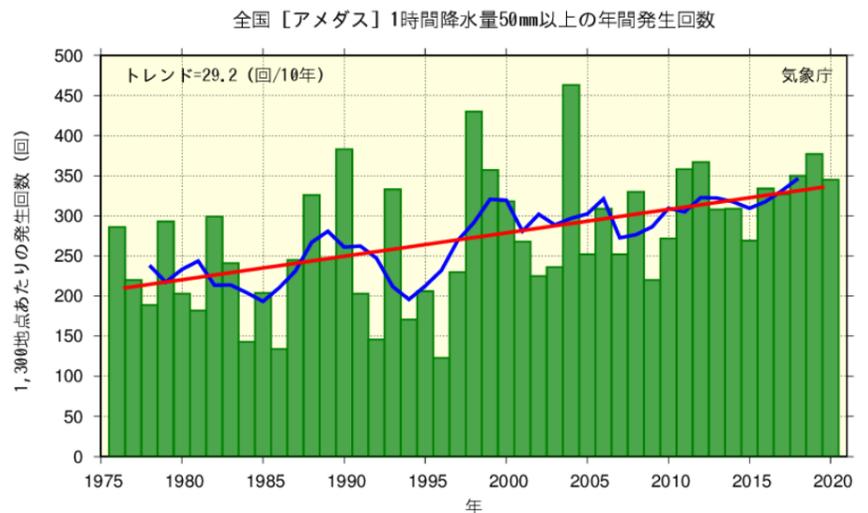
(短時間の降水量の発生回数も増)

アメダスが観測した1時間雨量50mm以上の強雨の発生回数を年ごとに集計し、グラフにしました。

1時間雨量50mm以上の年間発生回数は1976~2020年の間で増えていることがわかります。



日本の年平均気温偏差



(アメダス)
1時間降水量50mm以上の年間発生回数

日本で多発する風水害

平成24年9月27日には、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が「温暖化の影響で、今世紀末に海面は最大82cm上昇し、気温は最大で4.8度上がる」と予測しており、日本近海での超巨大台風の発生及び発達により、日本への被害拡大が危惧されています。

<近年の全国の主な災害>

山口県・島根県豪雨災害／平成25年7月

26号台風災害（伊豆大島土砂災害）／平成25年10月

広島土砂災害／平成26年11月

関東・東北豪雨災害（台風第18号及び17号）／平成27年9月

10号台風災害（東北・北海道）／平成28年8~9月

九州北部豪雨（福岡県朝倉市・大分県日田市他）／平成29年7月

平成30年7月豪雨（西日本11府県）／平成30年7月

令和元年8月豪雨（佐賀県、福岡県、長崎県）／令和元年8月

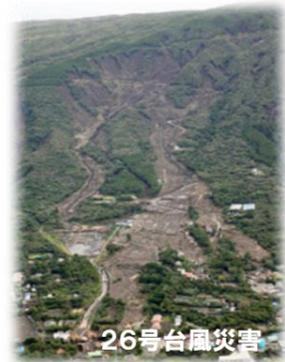
19号台風災害（関東甲信、東北地方等14都県）／令和元年10月

令和2年7月豪雨（九州、中部地方等）／令和2年7月

令和3年8月豪雨（九州、中部地方等）／令和3年8月



九州北部豪雨災害



26号台風災害



19号台風災害